

みなさんと一緒に実現しました

日本共産党議員団の実績

〈2024年6月議会〉

燃やすごみ袋「半額化」が実現。大袋80円→40円、中袋60円→30円、小袋40円→20円。(2024年10月1日実施)

「日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書」を党議員団が提案し、全会一致で可決。

〈2023年12月議会〉

「太陽光発電設備と地域環境との調和に関する条例」が制定され、対象を200㎡(10kW)以上と禁止区域や抑制区域も設定。(2024年4月1日施行)

熱中症対策として、令和7年度に市内6中学校の体育館(屋内運動場)に空調(エアコン)設備を設置することを明言、設計業務に着手。

〈2023年6月議会〉

物価高騰から暮らしと経営を守る緊急経済対策において、特に農業支援について市長に申し入れ、「農業生産資材高騰対策事業支援金」や「飼料価格高騰対策事業支援金事業」などを実施。

〈2023年3月議会〉

18歳(高校卒業)まで子どもの医療費無料化実現(所得制限なし)。

〈2022年12月議会〉

丹波市「ゼロカーボンシティ宣言」を行う

〈2021年3月議会〉

空き家率の高い「特定公共賃貸(特公賃)住宅」の家賃を最高29,700円の引き下げを実現。

市民とともに20年、
さらに市民の願い実現に
全力をあげます！

丹波市議会議員

にしもと 嘉宏
西本よしひる

プロフィール | 1947年(昭和22年)春日町東中生まれ。1966年(昭和41年)柏原高校卒業後、国鉄福知山(電気区)に入社。27歳で春日町議会議員に初当選、連続5期、副議長、進修幼小PT会長、自治会長、丹波ひかみ農協総代など歴任。2004年(平成16年)11月、合併初の市議会議員選挙で当選、現在5期目、総務文教常任委員。議会運営委員会委員、日本共産党丹波地区委員長、丹有地域人権運動連合会長など。家族は妻と長男夫婦、孫二人。

私は、この間、“すぐに動く”
“ほっとけない”をモットーに、
現場に足を運び、市民の要求実
現に力を尽くしてきました。

特に、長年取り組んできた、
「ごみ袋の半額化」は、市民の皆
さんといっしょに実現させまし
た。6町合併から20年、人口は約
1万2千人減り、残念ながら人
口減少に歯止めがかかっており
ません。住んでよかったといえ
る丹波市にするためには、まだ
まだ多くの問題や課題が残され
ています。

若者が輝き、高齢者や障がい
者にやさしく、農業など産業・経
済も元気な丹波市をめざしま
す。また、公正で民主的な信頼さ
れる市政のために、コンプライ
アンス(法令遵守)を徹底するこ
とに尽きます。そのためにも、こ
れまでの経験を活かし、市政の
チェックを徹底し、市民のいの
ちと暮らしを守り、“安心・安全
の丹波市”に向け、引き続き全力
で頑張る決意です。

みなさんの声をまっすぐに届け、直ちに取り組む 7つの 基本政策

1 若者が輝き、子どもが 元気に育つ丹波市に！



- 小中学校給食の無償化をすすめます。また、米飯給食は、丹波産有機米100%使用をめざします。
- 0歳～2歳の保育料の無料化をすすめます。
- 地域の声を無視した小学校統廃合と小中一貫校の押しつけに反対します。
- 若者の「スケートパーク」をつくります。

2 医療と介護、福祉の充実を！



- 国民健康保険税の引き下げ、子ども(18歳以下)の「均等割」を廃止します。
- 「地域支援事業」「保険福祉事業」の充実。介護保険料の引き下げと利用料の軽減をすすめます。

3 市民負担を減らし、 公共交通の充実を！



- デマンド・タクシーの「県立丹波医療センター」までの「直行便」開設をめざします。
- 路線バス運賃を上限300円と、増便や路線の拡大を図ります。
- 上下水道料金の引き下げをめざします。

4 農林・商工業などの産業振興と 雇用を守り、地域経済を元気に！



- 深刻な農業後継者対策の充実・強化に早急に取り組めます。
- 「オーガニックビレッジ宣言」を生かし、環境に優しい有機農業の推進と支援強化を図ります。
- 旧柏原支所や柏原日赤跡地の活用計画を市民参加で作し、地域の活性化を図ります。

5 防災対策の強化と住環境を守り、 脱原発のとりくみを！



- 加古川・竹田川等の樹木伐採や浚渫など河川管理の強化と内水対策の充実に取り組めます。引き続き黒井川の改修促進も兵庫県に要請します。
- 高浜原発再稼働に反対し、再生可能エネルギーの推進をします。

6 支所機能の充実強化をはかり、 住民自治の力を活かすまちづくりを！



- 支所に「まちづくり専門員」(元職員等)を配置し、住民自治の力を活かし、地域の実態に合ったまちづくりを推進します。
- 統合新庁舎の建設でなく当面、分庁舎方式の維持とオンライン化等支所機能の充実を図ります。
- 自治会が自由に活用できる補助金制度をつくります。

7 憲法9条を守り、平和と民主主義、 人権を守る丹波市に！



- 憲法9条を守り「非核平和都市宣言」を活かした平和都市丹波市をめざす取り組みをすすめます。
- 誰もが自分らしく生きられる“ジェンダー平等社会”をめざす丹波市にしていけます。

財源は
あります！

2023年(令和5年)度決算で、約16億円の黒字決算(実質収支)や
約48.8億円の財政調整基金や地域振興基金(約48.8億円)など財源はあります。

